



3月のほけんだより

平成30年3月1日 みなみひの保育園

猛威をふるったインフルエンザもようやく終息に向かい、春の訪れを感じるようになりました。早くもスギ花粉が飛び始めているようです。気温差によるかぜもひきやすい時期です。引き続き健康に注意して、少しづつ新年度の準備を始めましょう。

子どもに多い耳の病気

急性中耳炎



どんな病気？

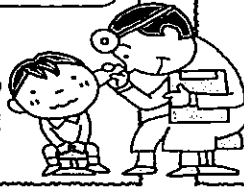
中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿がたまる病気です。カゼをひいたときに、鼻やのどの炎症に続いて起こることが多いです。

症状は？

- ・ズキズキとする激しい耳の痛み
- ・発熱
- ・耳だれ
- ・耳がつまった感じ など

注意点は？

途中で治療をやめると、滲出性中耳炎などに移行することも。最後まできちんと治療するのが大切です。



滲出性中耳炎



どんな病気？

鼓膜の奥の中耳腔という部屋に、液体が溜まる病気です。

症状は？

聞こえにくくなることが多いです。ただし、軽度だと気づくのが遅れることも。

- ・テレビのボリュームを上げたがる
- ・呼びかけても返事をしない

などが見られたら注意が必要です。強い痛みや発熱はあまり見られません。

注意点は？

治療が不十分だったり、放置すると入院や手術が必要になることも。長期戦になるケースも多いですが、根気強く通院を続けてください。

進級就学に向けて

- 予防接種の受け忘れはありませんか？
特に四種混合1期追加、水痘の追加の未接種が多いようです。今一度、母子手帳をご確認ください。
- 治しそびれている虫歯はありませんか？
お子様の口の中を覗いてみてください。
- 靴はきつくなっていませんか？



進級・就学を控えて

気持ちが不安定になる時期です

新年度を控え、多くの子どもたちが「1つ大きくなる」という喜びでいっぱいな時期です。ただ、中には気持ちが不安定になる子どももいます。今までなかったのに急に次のような様子が見られたら、何かストレスを感じていることがないかどうかを注意してみてください。

・指しゃぶり・つかみ

・チック

・どもり



- 目をパチパチさせる
- 咳ばらいをする
- 肩をぴくっと動かす等